

- 氏名 : 村松 由基
- 会員番号 : PE-0322
- 専門分野 : 機械工学
- 保有資格 : PE (Mechanical), Texas



FE 試験受験 : 2017/01

PE 試験受験 : 2017/10

PE 登録 : 2022/07

1. はじめに

自己のキャリアアップのため PE 登録を目指したいと思い立ち、2017 年に PE 試験を受験。無事合格したものの、その後転職やら何やらで 4 年以上の歳月が流れてしまいました。さすがにこのままではマズイと思い、PE 登録に向けて活動を始め、最終的にテキサス州 PE として登録されました。この体験記が、今後 PE 登録を目指す方々にとって一助となれば幸いです。

2. 登録までの流れ

	2022年							
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
登録州の選定		■	■	■				
登録申請フォーム記入、支払い			■	■				
JABEE認定プログラム証明書の入手			■	■				
卒業・成績証明書の提出				■	■	■		
ReferenceとSERの準備、提出			■	■	■	■		
FE・PE受験履歴の提出、Ethics exam受験				■	■			
CHRCと英語能力証明の提出				■	■			
就労資格に関する宣誓						■		
登録通知							■	
スタンプ入手								■

テキサス州登録に関しては詳細な体験記が幾つも残されていて、大変参考となりました。基本的な流れは同じなので各ステップに関する説明は最低限とさせていただき、「私の場合こうだった」ということについて、記したいと思います。

2.1 登録州の選定

JPEC が MOU を締結している州の登録条件や過去の登録体験記を確認し、紆余曲折を経て最終的にテキサス州を選択しました。テキサス州を選択した主な理由は下記の通りです。

- ① JABEE 認定プログラムを修了している場合、NCEES Credentials Evaluation が不要。
- ② Reference が 3 通でよく、Reference provider のうちの 1 人は日本の技術士でよい。
- ③ 前職で米国案件に従事した経験が、Experience requirement にマッチしていた。

登録州の選定に2ヶ月も要したのは、テキサス州を最終選択する前に元々ケンタッキー州を第一候補として考えており、JSPEのPE登録助言活動を利用してシラバス英訳の仕掛かりまで進めていたためです。

テキサス州への登録を躊躇していた理由は、上記③の米国案件が設計上の問題により量産前に終了してしまい、(別の設計者に起因するものとはいえ)経歴として示すのは適切でないと思い込んでいたためでした。しかし、PE登録助言活動の担当者の方から、「量産になったかどうかではなく自身のエンジニアリング経験を記載すればよく、そこは書き方次第」とアドバイスをいただき、テキサス州登録へ舵を切る決断をしました。結果的にシラバス英訳化は不要となりましたが、シラバスを入手するため新幹線を使って日帰りで大学へ出向き、図書館で該当ページのコピーを取りまくり、懐かしいキャンパスを在学中同様自転車で疾走できたのは、今となっては良い思い出です。

2.2 登録申請フォーム記入、支払い

Texas Board of Professional Engineers Online System から、オンラインで登録申請することができます。申請フォームを送信して申請費用を支払うと申請開始となり、pending items についてテキサス州 PE ボードから自動通知メールが届きます(マイページから確認することも出来ます)。最初の通知から45日以内に提出しないと、申請が却下されることになります。私の場合5月12日に通知メールが届いたので、デッドラインは6月26日でした。

2.3 JABEE 認定プログラム証明書

私の出身大学では英文版のJABEE認定プログラム修了証書を発行していませんでした。JABEEに問い合わせたところ、「申請者個人がJABEE修了生であることを保証できるものは無いが、修了した課程がJABEE認定プログラムであることを保証するEndorsement letterなら英文版を提供可能」ということで、JABEEからレターを入手しました。レターは、卒業・成績証明書に添えて大学から州ボードへ提出してもらいました。

また、全ての資料を提出して2週間後、州ボードからの自動通知メールにて、就労資格に関する追加項目(2.11項参照)と併せて「提出資料のレビューの後、approved evaluation serviceによって学歴評価をしてもらうことになります。必要な処置をとってください」と連絡を受けました。抽象的な内容にやや不満を覚えつつ州ボードの担当者に「修了した過程はJABEE認定プログラムであることを示すレターを既に提出済みです。他に何を提出すべきか教えてください。」と回答したところ、特に返信無くクローズとなりました。

2.4 卒業・成績証明書

「証明書発行願」「受領委任状(受領者が私本人ではないため)」「切手貼付済のEMS封筒」「Endorsement letterのコピー(大学分のみ)」をB4サイズの封筒に入れて、大学と大学院へそれぞれ送り、そこから直接州ボードへ郵送してもらいました。

大学側が郵便局へ出してから州ボードへ配達完了するまで、約半月かかりました。その内、米国オヘア空

港に到着してから税関を通過するのに 1 週間程度かかっていました。

州ボードには最近大量の郵便物が届いていて捌くのに時間を要しているらしく、郵便追跡サイトで配達済になればそれを以って Proof of delivery と見なされるとのことでした。念の為 EMS 追跡番号を州ボードの担当者にも展開し、ステータスが配達済となった時にも連絡を入れました。

大学分、大学院分ともに 5 月 28 日に配達済となり、数日後にマイページの「大学分の卒業・成績証明書」のステータスが「受領済」となったのですが、いつまで経っても大学院分のステータスが変わりませんでした。州ボードの担当者に何度問い合わせても返信すら無かったのですが、2 週間以上経った 6 月 16 日、「大学院分の卒業・成績証明書が未受領」という自動通知メールが届き、担当者に再度問い合わせてところ「見つからないから再送して」とのこと……。デッドラインが数日後に迫る中、デッドラインを過ぎても良いと認めるよう担当者に依頼したところ、「デッドラインは 8 月 10 日だから十分時間あるわよ」との回答でした。過去の体験記に 90 日と記されているものもあるので、真の猶予期間は 90 日なのだろうと推察します。私のように何らかアクションを取った場合に延長されるのか、もしくは何もなかったとしても延長してくれるのか、それは分かりません。何はともあれ、一応猶予は確保できました。再度、大学院に証明書発行願等の書類一式を送付し、州ボードへ郵送してもらいました。州ボードの担当者に対し、EMS 追跡番号を連絡するとともに、「資料紛失の責任は州ボードにあるのに追加の発送費用を州ボードが負担しない可能性について懸念している」と伝えたところ、担当者から紛失に対する謝罪と、返金リクエストを出すから領収書を送付するよう返信が届いたので、領収書のスキャンをメール送付しました。ちなみに 2022 年 6 月 1 日から EMS 料金が大幅に値上げされています。

2 度目の発送は、大学院側が郵便局へ出してから州ボードへ配達完了するまで、5 日間しかかかりませんでした。その 3 日後には、マイページのステータスも「受領済」に変更となっていました。5 月に発送した EMS がオヘア空港の税関で 1 週間も留め置かれたのは、値上げ前の駆け込み需要が原因だったのかもしれない（真相は不明）。

2.5 Reference

JSPE に所属されている PE 2 名と、技術士資格を持つ前職の元同僚 1 名から Reference をいただきました。Reference provider を探していることを PE 登録相談会にて相談したことがきっかけで、私の現在の勤め先の元関係者の方、そして私の前職の元関係者の方とそれぞれコンタクトを取らせていただき、Reference をお願いさせていただきました。

2.6 Supplementary Experience Record (SER)

テキサス州 PE ボードの Web サイトの記載例を参考に、SER（職務経歴書）を作成しました。前職分で 2 通、現職分で 1 通作成し、最終的に 8 ページとなりました。

申請者の署名のみ入った SER と、Reference provider の署名も入った SER の 2 つを州ボードに提出する必要があります。前者は、スキャンして州ボードの担当者にメール送付し、問題なく受理されました。後

者については、各 Reference provider へ SER のコピーを送付し、署名をしてもらいました。そして Reference、PE 資格証明書（Pocket card）のコピーと共に封筒に入れ、州ボードルールに則り封緘してもらったものを Reference provider から私まで郵送してもらい、3 セットまとめて私から州ボードに EMS で郵送しました。

なお、日本の技術士に Reference をお願いする場合、英文版の資格証明書を文科省に申請してもらう必要があります。申請書が文科省到着後、証明書が発送されるまでに 10 日（土日祝日を除く）程度かかるため、早めにご準備されることをお勧めします。

2.7 FE・PE 受験履歴

MyNCEES Dashboard から、受験履歴をテキサス州へ送りました。

Board	Date Requested	Status
No open requests		

Exam	Board	Exam Date
NCEES FE	JPEC	January 2017
NCEES PE - Mechanical	JPEC	October 2017

Verified Licenses

2.8 Ethics Exam

テキサス州では、オンラインで受験することができます。Web サイトへのログイン時に SSN の末尾 4 桁の入力を求められますが、私は SSN を持っていなかったため、州ボードに確認し、マイナンバーの末尾 4 桁で代用しました。試験は 25 問中 23 問以上の正答で合格です。問題用紙と州法はダウンロードできるので、予めローカルで回答を決めておいてから受験しました。2 度目のチャレンジで合格できました。念の為、試験結果の表示された Web ページのスクリーンショットを州ボードの担当者にメール送付しました。

2.9 Criminal History Record Check (CHRC)

IdentoGOという米国機関に指紋を登録するため、指定の指紋カード（FD-258）を使って指紋を採取し、EMSにて送付しました。FD-258はメルカリで購入し、県警本部で指紋採取してもらいました。市の警察署にも電話で問い合わせてみましたが、対応不可とのことでした。

しばらくして IdentoGO から登録完了の連絡が来たので、念の為 Web ページのスクリーンショットを州ボードの担当者にメール送付しました。

2.10 英語能力証明

私は TOEFL を受験したことがあったため、前職で米国案件担当中にお世話になった米国人エンジニアと SNS で繋がっていたのでコンタクトを取り、レターを書いてもらいました。レターは、メールで州ボードの担当者

に送付しました。彼とは直接的な上司部下関係ではなかったためレターでは colleague と表現されていましたが、特に問題なく受理されました。

2.11 就労資格

全ての資料を提出して約 2 週間後、「米国在留資格を示す文書を提出し、米国での就労資格を保有していることを説明してください」という追加項目が自動通知メールで通知されました。過去の体験記を参考に、「私は就労資格が無いので、「米国での就労資格を得なければテキサス州で licensed professional engineer として働かないことを誓います」というレターを提出したい」と州ボードの担当者にメールで回答したところ、そのメールのみでクローズとなりました。

2.12 登録通知

就労資格に関しメール回答してから 3 日後、「レビュープロセスの第 1 フェーズが完了し、テクニカルレビューフェーズへ移行した」という通知メールが届き、そこから土日も含めた 4 日後に、PE 登録の通知が届きました。資料提出に余計な時間がかかりましたが、無事登録が完了し、達成感を得ることができました。

なお、登録通知が届いた時点で追加発送費用の返金リクエストについて進展はありませんでしたが、これ以上のやり取りは時間の浪費と考え、リクエストを取り下げました。

2.13 スタンプ

PE 登録の通知から 60 日以内にスタンプを入手する必要がありますが、2022 年 6 月 24 日以降、印影を州ボードに登録する必要は無くなりました。過去の体験記を参考に、「PE Stamps」で購入しました。過去にあった郵便番号入力時のエラーも現在は解消されており、特に問題なく購入することができました。

3. おわりに

登録申請の過程では、人との繋がりの大切さを実感しました。キーパーソンが身近にいたおかげで、効率よく申請を進めることができました。改めて、お礼を申し上げます。この繋がりは私の財産です。

また、状況を理解してくれた家族にも感謝です。思い返せば 2017 年、長女が 1 月に生まれたばかりでまだ乳飲み子だというのに妻は私が受験勉強することに専念させてくれました。州登録を果たし、妻の理解にやっと報いることができました。

州登録は無事完了しましたが、今後はライセンスを維持し PE として継続的な能力向上のため、年間で 15 時間の PDH を取得する必要があります。JSPE にはより一層お世話になりますが、引き続きよろしくお願いたします。

以 上